



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.151

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2020.10

## 医療法人社団 仁恵会 令和2年度「永年勤続表彰」を行いました

仁恵会グループでは、永年勤続表彰制度を設け、勤続10年、20年に達する正職員を対象に、永年にわたる貢献・功績に感謝し、賞状並びに記念品を贈呈しています。

この度、9月7日（月）の全体朝礼後、令和2年度「永年勤続表彰式」を挙行之、勤続10年を迎えた職員5名が表彰されました。



(石井院長と共にソーシャルディスタンスを保っての記念撮影)

### 【職員の方々より、一言メッセージを頂戴しました。】

この病院に勤めていろいろなことがあったと、今回の自分の人生を振り返るととてもいい機会となりました。振り返ると時間の流れはとても早く、いろいろ後悔することも多くあります。これからは時間を大切に、目標をもって後悔しないよう、人として、看護師として、また病棟師長として見本になるように日々努力まい進していきます。

2階病棟 看護師長 小松原 史子



永年勤続表彰を頂き、有難うございました。訪問看護師として仁恵会に入職し、訪問看護ステーションと訪問看護室で在宅と病院を繋ぐ仕事をしてきました。当法人内の職員の皆様と地域の関係機関の皆様にも大変お世話になり、利用者様と家族様を支援することができています。今後もより一層研鑽に励み、在宅部門を盛り上げていきたいと思ひます。

訪問看護室 師長 山崎 久美子



この度は永年勤続表彰をして頂きありがとうございます。パートから正社員になり14年が経ちましたが、周囲の方々に助けられ働き続けることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

じんけいクリニック 看護補助者 竹本 多可子



この度は永年表彰を賜り心より感謝致します。入職以来、たくさんの方々から多くのことを学び本日を迎えることが出来ました。今の自分があるのは、その方々のお蔭だと思います。今後とも変わらぬ御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

リハビリテーション科 言語聴覚士 長野 幸世



この度は、永年勤続表彰を頂きありがとうございます。入職してもう10年とすぐくあつという間に感じられます。ここまで歩んでこれらたのも皆様のおかげであると感謝しています。これからもより良いリハビリを提供できるように頑張っていきたいと思ひます。

リハビリテーション科 理学療法士 綿本 真也



～ マンモグラフィーの技術認定資格を取得しました～

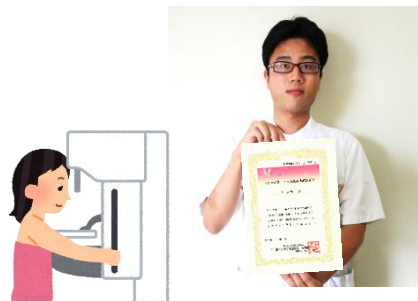
診療放射線技師の上治 太裕（うえじ だいゆう）です。

もっと実力を身に付けたいと思いマンモグラフィーの技術認定の資格を取得いたしました。普段検査では、受診者の圧迫の不安を解消させるために適切な説明を心がけています。

これからも向上心を持って、適切な検査が出来るよう努めていきます。

● マンモグラフィー技術認定資格とは？

「NPO 法人 日本乳がん検診精度管理中央機構」が診療放射線技師に与える認定です。講習を受講し、読影試験とマンモグラフィの基礎・撮影技術・品質管理・撮影機器についての筆記試験に合格した技師は、マンモグラフィの撮影技術・精度管理についての必要な知識と指導の実力があることが認められます。



じんけいクリニック 臨床工学部より ～ 透析排水の処理について～

安全・安心な透析システムの管理には、透析装置システム（RO装置、透析液供給装置、溶解装置（A剤、B剤）、透析用監視装置、個人用透析装置および透析配管等）の洗浄・消毒が必要です。

当院では透析終了後に、RO水で洗浄後、曜日を分けて酢酸、次亜塩素酸ナトリウムで消毒しています。

しかし、人工透析装置内部の消毒には、過酢酸（pH0.8～1.2）や次亜塩素酸ナトリウム（pH12.5～13.5）などの薬品を使用するため、排水が酸性あるいはアルカリ性になり、そのまま排水する場合、水素イオン濃度（pH）が排液基準に適さない恐れがあります。酸性に偏った透析排水が下水道に流された結果、汚水貯留槽や下水管のコンクリートを腐食させることが懸念されていました。

実際、2017年には東京都で透析排水による下水道管の損傷被害が確認されました。

こういった事故を防ぐために「2019年版透析排水基準達成のための手順書Ver1.00」が策定され、以下の2つの排液基準について特段の注意が必要であることが記されました。

- 1) 水素イオン濃度(pH)5を超え9未満
- 2) 温度45℃未満

当院では、以前から透析排水に対して中和装置を使用していました。そして「2019年版透析排水基準達成のための手順書Ver1.00」が策定された当初から、基準を満たした排水が行われているかどうか実際に直接下水道管からサンプリングをして、pHを確かめる作業を月に2回行っています。幸いなことに2020年9月現在まで基準値から逸脱したpHが測定されたことはなく、pHを7.5前後に保つことができています。

下水道管は公用であるため、人工透析に使用する水だけでなく最後の洗浄液の排液まで適切に管理する事で、地域に根付いた医療ができると考えております。

これからも地域医療に貢献できるよう研鑽いたします。どうぞ宜しくお願い致します。



（下水道管から排水を採取する様子）



■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725  
平日 9:00～12:00 14:00～17:00  
土曜 9:00～12:00  
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会  
〒673-0881 明石市天文町1-5-11  
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657  
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>